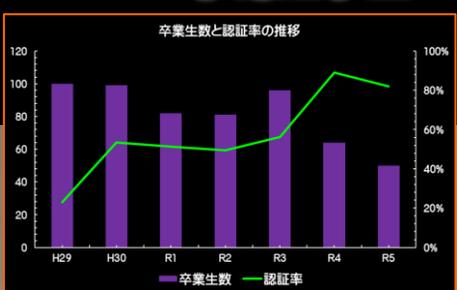
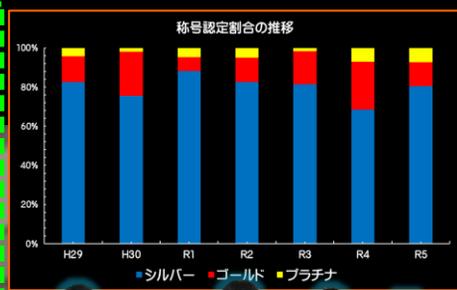
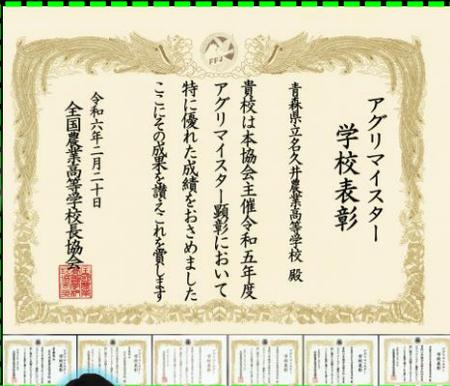




アグリマスター顕彰制度

祝 7年連続 学校表彰 41名認定



大会や検定の活躍をポイント化したアグリマスター顕彰制度は、農業高校満喫度指数と言っても良い。この制度に今年も多くの生徒が認定され、7年連続学校表彰を受賞したことは実に誇らしい。生徒数が減少しているのにも関わらず、認定率を維持している。さらに称号認定の内訳を見ると、若干ではあるが称号の高度化が見て取れる。いかに名農生が農業高校を満喫しているかが分かる。

高い認定率を保っているのももちろんクラブ員の努力の賜物。しかし、それだけではない。名農独自のメソッドが功を奏している。1つは取得状況の一覧化。これにより、現状把握はもちろん、クラブ員同士の競い合いが生まれた。今年度は受験カレンダーと受験費用一覧表も追加掲示し、見通しを立てた戦略的な取得を促した。資格取得だけでなく、校内の意見発表会とプロジェクト発表会を全クラブ員に課していることも加算に繋がっている。連盟大会での活躍ともなれば、さらに加算される。

認証のポイントはいかにA区分で加算できるか。そのためには日本農業技術検定3級の合格が欠かせない。聞くところによると、環境システム科1年生は全員合格の快挙を成し遂げたそうである。今後の上澄みが楽しみである。3年生の認定者おめでとう。1・2年生のクラブ員よ、続け！

